

奄美群島国立公園

指 定 書

令和2年2月26日

環 境 省

目 次

1	奄美群島国立公園の指定理由	1
2	地域の概要	3
(1)	景観の特性	3
ア	地形・地質	3
イ	植生	4
ウ	野生動植物	6
エ	海域	8
オ	文化景観	8
(2)	利用の現況	9
(3)	社会経済的背景	10
ア	土地所有別	10
イ	人口及び産業	10
ウ	権利制限関係	11
3	公園区域	19

1 奄美群島国立公園の指定理由

①景観（同一風景中、我が国の風景を代表する傑出した自然の風景地）

奄美群島は鹿児島県の南部に位置し、奄美大島、加計呂麻島、請島、与路島、喜界島、徳之島、沖永良部島及び与論島等の島嶼で構成される地域である。当該地域は、世界的にも数少なく国内では最大規模の亜熱帯照葉樹林、日本列島の形成過程を反映して形成されたこれらの島々の地史を背景に生息・生育する固有動植物及び希少動植物、世界有数の速度で今も隆起するサンゴ礁段丘、琉球石灰岩の海食崖やカルスト地形、世界的北限に位置するサンゴ礁、マングローブや干潟等多様な自然環境を有している。

近年、照葉樹林、干潟、サンゴ礁等の景観に対する関心の高まりにより、様々な希少な生物が生息し、その雰囲気を感じられる豊かな生態系を有する地域や海域そのものに対する風景の評価が高まっており、国立公園として評価することが必要となっている（「国立・国定公園の指定及び管理運営に関する提言」平成 19 年 3 月、国立・国定公園の指定及び管理運営に関する検討会）。

また、平成 22 年度に国立・国定公園総点検事業の結果が公表され、当該地域の自然環境が我が国を代表する傑出した地域であると評価され、新規に国立公園の指定を行う候補地として選定された。

以上を踏まえ、奄美群島は、日本列島の形成過程を反映して形成された島々の地史を背景に多くの固有種が集中して分布する国内最大規模の亜熱帯照葉樹林の生態系を中心として、自然性の高い河川景観、干潟・マングローブ生態系、サンゴ礁生態系といった多様な生態系が複合的に一体となった景観を風景型式とし、これらと一体的なリアス海岸の景観や琉球石灰岩のカルスト地形の景観、人と自然の関わりを示す有形無形の文化景観をも有する、我が国を代表する傑出した地域である。

②規模（区域面積が原則として 1 万 ha 以上（島嶼））

本国立公園の区域面積は 42,196ha（陸域）である。

③自然性（原生的な景観核心地域が原則として約 2,000ha 以上）

本国立公園の原生的な景観核心地域は、住用川及び川内川中流部、湯湾岳、井之川岳、丹発山などであり、その合計区域面積は 15,987ha である。

<参考：特別保護地区：5,248ha、第 1 種特別地域：9,615ha、海域公園地区：1,124ha>

④利用（大人数による利用が可能）

景勝地や海浜巡り、亜熱帯照葉樹林の散策、カヌー体験、ダイビング、グラスボートによる海中景観探勝、海水浴、本地域固有の動物等の観察など、利用の多様性に富んでいる。

⑤地域社会の共存（地域社会の理解の獲得）

住民説明会の開催や関係市町村の同意を経て、指定するものである。

以上、「国立公園及び国定公園の候補地の選定及び指定要領（平成 25 年 5 月 17 日付け環自国発第 1305171 号 環境省自然環境局長通知）」に記載される要件を満たすことから、本地域を国立公園に指定する。

また、本国立公園のテーマを「生命にぎわう亜熱帯のシマ～森と海と島人の暮らし～」とし、琉球弧の形成の歴史を示す海岸等の優れた景観を保全し、地史を反映して進化をとげた固有の動植物等で構成される亜熱帯照葉樹林生態系を積極的に管理して、その健全性の維持・回復と希少動植物の絶滅リスクの回避、低減を図るとともに、地域特有の自然や伝統的な自然とのかかわりを感じることができ、質の高い自然体験や環境学習の場と機会を提供することにより、地球の生物の多様性の確保に寄与し、地域の暮らし・営みと自然環境保全のバランス維持に貢献する国立公園を目指す。

2 地域の概要

奄美群島は、トカラ列島と沖縄諸島の間に飛び石状に点在する島嶼群で、南北は北緯 27 度 0 分 53 秒から同 28 度 32 分 30 秒、東西は東経 130 度 02 分 16 秒から同 128 度 23 分 50 秒の海域に位置し、有人 8 島で構成される。総面積は、1,231.39 km²で、それぞれ奄美大島 712.47 km²、加計呂麻島 77.39 km²、請島 13.34 km²、与路島 9.35 km²、喜界島 56.93 km²、徳之島 247.77 km²、沖永良部島 93.64 km²、与論島 20.47 km²となっている。

この群島は九州から台湾まで約 1,200km にわたって連なる弧状列島に属し、ユーラシアプレートとフィリピン海プレートの接点に位置する。現在の姿は主に新生代の新第三紀からの隆起・沈降と、第四紀のサンゴ礁の発達に伴う琉球石灰岩の堆積によって形成され、ユーラシア大陸や日本列島との接続と分断を繰り返しながら形成された島嶼だと考えられている。

このような地史により、大陸等と接続している時代に生物が移動定着し、その後の分断により隔離されることで遺伝的な変異を蓄積させて独自の進化を遂げ、古い形質を残したまま現在まで生き残った固有種（固有亜種）の多い生物相が形成されたとされている。

気候帯としては温帯的要素と熱帯的要素を併せ持つ「亜熱帯」に属し、黒潮の影響も受けて一年を通じて温暖・多湿で降水量が多く、特に奄美大島は年平均降水量が 3,000 ミリ近い国内有数の多雨地帯となっている。

こうした地理的な要因から、奄美群島は世界の動物地理区の旧北区と東洋区の境界となっており、ともに、植物地理区の全北区界と旧熱帯植物界の境界にもなっており、生物地理的に南方系要素と北方系要素が混在する生物分布の地理的移行帯となっている。

(1) 景観の特性

ア 地形・地質

奄美群島の島々の地形は、主にその地史の違いから山地のある高島と低く平らな低島の 2 種に大別される。高島と低島の違いは、島の水環境や土地利用の違いにも関連している。

奄美大島（加計呂麻島、請島、与路島を含む。以下同じ。）と徳之島が相当する高島は、新生代第三紀より古い地層から構成される島で、主として中生代の粘板岩や砂岩でできた山地が多く起伏が大きい。一般に山地が海岸線まで迫り、周囲は切り立った崖をなして平地が少なく、比較的短い急な流れを有した河川水系が存在する。

また、海岸線は変化に富んでおり、奄美大島ではリアス海岸を見ることができる。

喜界島、沖永良部島、与論島は低島であり、第四紀に形成された琉球石灰岩からなり、山地がなく低平な島で、海岸線は一般に出入りが少ない。低島の要素は徳之島南西部にも見られる。段丘地形がよく発達しており、数段の階段状をした段丘を見ることができる。世界有数の速度で隆起する喜界島は、特に段丘地形が発達しており、みごとなテーブル状をした段丘や海拔 10m 以下の高さに新しい時代の離水サンゴ礁からなる段丘を見ることができる。

また、低島では、琉球石灰岩が非常に水に溶けやすいことから地下水系が発達しているほか、鍾乳洞、ドリーネなどのカルスト地形も見ることができ、沖永良部島で顕著である。

イ 植生

奄美群島の山地帯の大部分を占める自然植生は、スダジイを優占種とする常緑広葉樹林で、奄美大島の常緑広葉樹林は亜熱帯照葉樹林としては国内最大規模を誇る。

奄美大島や徳之島の山地の中腹部一帯の適潤地ではケハダルリミノキースダジイ群集に属する群落で覆われている。ここでは、海風の直接当たらない山腹や谷沿いにオキナワウラジロガシの優占度が高い群落が見られる。海拔約 400m 以上のやや標高の高い湿潤な立地にはアマミテンナンショウスダジイ群集が発達し、奄美大島と徳之島の最高峰である湯湾岳（694.4m）及び井之川岳（644.8m）の山頂部一帯には、タイミンタチバナミヤマシロバイ群集が見られる。このほか、沖永良部島の大山山頂付近にはアオバナハイノキースダジイ群集が分布している。過去に森林伐採を行った場所や海風の影響の強いところでは低木層や草本層の発達が悪いギョクシンカースダジイ群集が広く分布している。

常緑広葉樹林は、主に奄美大島中南部や徳之島北部から中央部などに分布が見られるほか、沖永良部島の大山山頂部付近でも見ることができる。これらのほとんどは、過去に伐採された二次林であり、比較的人手が入っていない自然林は奄美大島の湯湾岳や住用川中流部、徳之島の三京などごく限られた地域でしか見られず、奄美大島で全体の 6.5%、徳之島で 3.5% を占めている。奄美大島では、昭和 30 年代以降、約 7 割の森林が伐採されたが、近年は大規模な森林伐採があまり行われていないことから森林は回復途上にある。

森林を伐採した跡地等の多くは、リュウキュウマツ群落やギョクシンカースダジイ群落となっている。同群落は奄美大島北部及び外縁部、徳之島中部から北部にかけて広がっており、奄美大島では全体の 19.9%、徳之島では 16.4% を占める。近年、マツクイムシ被害によってリュウキュウマツは枯損し、下層にあったスダジイやアマミアラカシなどからなる森林に変わりつつある。また、伐採跡地周辺には、アカメガシワやリュウキュウエノキなどを主とする落葉広葉樹林が見られるほか、過湿な斜面や谷状地には木生シダのヒカゲヘゴの群落が発達する。沿岸の風衝地には、シャリンバイ、アカテツ、ハマビワ、シバニッケイなどを主構成種とする風衝低木林が見られ、タイワンヤマツツジの優占度の高い群落も局所的に存在するほか、岩崖地にはソテツ群落が発達する。

低地帯の自然植生は、アコウ、ガジュマル、ハマイヌビワ、ホルトノキ、アカテツ、クスノハガシワ、タブノキなどで構成される常緑広葉樹林で、喜界島、徳之島南西部、沖永良部島、与論島の顕著な隆起サンゴ礁地帯でよく発達している。

低地植生と海浜植生の接触する地域には、モンパノキークサトベラ群集、アダン群集、オオハマボウ群落などが带状に発達し、各島で見られる小規模な砂浜では、ハマアズキグンバイヒルガオ群落、クロイワザサーハマゴウ群落、ツキイゲ群落などが見られる。

また、喜界島、徳之島南西部、沖永良部島、与論島などには隆起サンゴ礁からなる海岸が存在し、モクビャッコウウコンイソマツ群落、ミズガンピ群落、ソナレムグラコウライシバ群落、ハルツルマキーテンノウメ群落などが見られる。

奄美大島では、このほか、入り江となった河口の泥湿地にメヒルギを主とするマングローブ群

落が発達しており、オヒルギ、サキシマスオウノキ、オオハマボウ、イボクタサギ、オキナワキ
ヨウチクトウなどが見られる。

ウ 野生動植物

① 動物

i) 哺乳類

奄美群島に生息する哺乳類は、これまでに約 24 種が確認されており、うち約 14 種が在来種で、残りは外来種である。

在来種のうち、アマミノクロウサギ、アマミトゲネズミ、トクノシマトゲネズミ、オリイジネズミは奄美群島の固有種、オリイコキクガシラコウモリは固有亜種である。また、ケナガネズミ、ワタセジネズミ、リュウキュウテングコウモリ、ヤンバルホオヒゲコウモリは奄美群島と沖縄諸島の固有種、リュウキュウユビナガコウモリとリュウキュウイノシシは奄美群島、沖縄諸島、八重山諸島の固有亜種である。これらの固有種及び固有亜種のほとんどは奄美大島と徳之島に分布しており、この 2 島は固有性の高い地域となっている。

アマミノクロウサギやアマミトゲネズミ、トクノシマトゲネズミ、ケナガネズミは、奄美群島が陸橋として大陸と繋がっていた第四紀以前に奄美大島や徳之島に侵入定着し、その後に大陸と分断されて隔離され、今も生き残っている遺存種と考えられている。

在来種の多くは、環境省のレッドリストで絶滅危惧種として掲載されており、アマミノクロウサギ、アマミトゲネズミ、トクノシマトゲネズミ、ケナガネズミなどは IUCN（国際自然保護連合）のレッドリストにも掲載され、国際的にも絶滅が懸念されている。これらの種は、主に山地の常緑広葉樹林に生息しているが、フィリマングース、ノイヌやノネコといった外来生物による捕食やロードキルによる個体数減少が確認されており、生態系への悪影響が懸念されている。また、主に海岸部でノヤギによる植生や在来植物への悪影響が懸念されている。

ii) 鳥類

奄美群島では、これまで日本で記録された鳥類の 633 種の約 50% を占める約 330 種以上の鳥類が記録されている。これは、温暖な気候により冬期でも餌となる木の実や昆虫類、小動物が比較的多く存在することや、飛び石状に連なる奄美群島が多くの渡り鳥の通過地域及び一時的な避難場所の役割を果たしていることによると考えられている。

奄美大島の森林では、ルリカケス、アマミヤマシギ、オーストンオオアカゲラやオオトラツグミなどの固有種又は固有亜種が生息している。ルリカケスは、古い時代からの生き残りである遺存種とされ、アマミヤマシギ、オーストンオオアカゲラ、オオトラツグミなどは環境省のレッドリストで絶滅危惧種として掲載されている。

各島の海岸の岩場や岩礁は、夏期に渡来するエリグロアジサシやベニアジサシなどの繁殖地となっているほか、ハミヤ島ではアナドリやオオミズナギドリが繁殖を行っていることが確認されている。

また、奄美大島や徳之島では冬期に干潟などでクロツラヘラサギの渡来も確認されている。

iii) 両生類・は虫類

奄美群島には 11 種の在来の両生類が生息しており、これは日本国内に生息する両生類の約 20%に相当する。このうち、オットンガエルとアマミシカワガエルは奄美大島、アマミハナサキガエルは奄美大島と徳之島の固有種である。オットンガエルは、沖縄島に生息するホルストガエルと共通の祖先種を持つとされ、それぞれに隔離されて分化したものと考えられている。アマミシカワガエルは奄美大島のみに生息する固有種で、近年まで沖縄島北部のものと同種とされていたが、遺伝的に異なるとされて 2011 年に新種記載された。

なお、オットンガエル、アマミシカワガエル及びイボイモリが遺存種と考えられており、これらを含む多くの種が環境省及び IUCN 両方のレッドリストで絶滅危惧種に位置づけられている。

は虫類は 20 種が確認されており、日本国内に生息するは虫類（ウミガメ等海生のものを除く）全体の約 30%を占める。そのなかでもオビトカゲモドキは、遺存種で徳之島にのみ生息する固有種である。コブラ科のヒャンとハイも共通の祖先を持つ遺存種で、更にヒャンは奄美大島に、ハイは徳之島等の島々にそれぞれ隔離されて分化したものと考えられる。

なお、奄美大島及び徳之島には猛毒を持つハブが生息しており公園利用上の注意を要する。

iv) 魚類

奄美群島の淡水魚類の正確な種数は不明だが、調査が進んでいる奄美大島では、河川上流部から河口部までに 136 種が記録されている。そのうち、ハゼ科魚類が最も多く、37.5%を占めている。これらの多くは、河川下流から河口に至る場所では出現しており、リュウキュウアユ、ハゼ、ヨシノボリなどが見られる。リュウキュウアユは、沖縄島で放流個体による再導入個体群が生息しているが、唯一、奄美大島では役勝川、住用川や河内川などで野生個体群が生息している。

v) 昆虫類

奄美大島に生息する昆虫類は、現在までに約 3,000 種が記録されているが、今後かなり多くの未記載種や分布新記録種の発見が予想される。

奄美群島の昆虫相は、島嶼が成立する過程で、大陸と結合した際に分布が拡大してきたもの、トカラ列島と分離する以前に北方から分布が拡大してきたもの、さらに島嶼として成立してから海流によって東南アジアやオーストラリアなどから分布が拡大してきたものなど複数の経路で種を受け入れており、ヒマラヤ系、中国系の遺存種や分布南限種、固有種・固有亜種も多く存在する。

なお、森林に生息するアマミマルバネクワガタ等のクワガタ類やカミキリムシ類などは、過去の大規模な開発行為により、生息地の減少が見られ、また、近年では、悪質な採集者による持ち去り等により、幼虫の生息環境である樹木の洞や根元の堆積物や樹木の部位ごと持ち去ったり、破壊されることもあり、個体数の大幅な減少が懸念されているものも見られる。

② 植物

奄美群島に分布する維管束植物の種数は、全体で 1,300～1,500 種にのぼるとされており、日本全土の面積の 0.26% にすぎない奄美群島に、日本全土に生育する種の約 35% が分布することとなる。

奄美群島の植物種は、南方系の種と北方系の種が混在すること、南方系の種の多くの種の分布北限となっていること及び固有種が多いこと等が特徴である。奄美大島を分布の北限とする種は、120 種以上にのぼる。また、固有種・固有亜種は約 60 種が確認されており、これらの多くは奄美大島及び徳之島の常緑広葉樹林などに生育する。

奄美群島の植物種中、環境省のレッドリストで絶滅危惧種として位置づけられているものは 200 種を越える。群島の中でも奄美大島及び徳之島、特に奄美大島は絶滅危惧種の種数が多い。奄美大島や徳之島ではこうした固有種・固有亜種や絶滅危惧種の採取が生物多様性保全上の課題となっており、いくつかの種では採取による絶滅が懸念されている。

エ 海域

奄美群島は、海岸部の大部分でサンゴ礁が発達しており、まとまった規模の礁を形成するサンゴ群集としてはほぼ世界の北限に位置している。奄美群島のサンゴ礁はほとんどが裾礁だが、与論島では堡礁が見られ、島の北東部には海岸から沖合約 1 km の範囲内に広大な礁湖が広がり、美しい海域景観を呈している。

奄美群島の造礁サンゴ相は、220 種を数える。奄美群島のサンゴ礁の総面積（礁湖の面積で算出）は、約 18,300ha で、サンゴ群集の占める面積は約 6,000ha となっている。このうち、被度 5% 未満の群集が 37.0%、被度 5～50% の群集が 53.9%、被度 50～100% の群集が 9.2% の面積を占めている。しかし、白化現象やオニヒトデ等の食害による影響を受けて海中の景観に大きな変化が生じてきた経緯を有する。

また、海岸の砂浜の多くはアカウミガメやアオウミガメの産卵場として利用されているほか、奄美大島北部に見られる泥質干潟では、シオマネキ等甲殻類、ナマコ類、貝類等や冬場の渡りで渡来するシギ・チドリなどの渡り鳥の姿を見ることができる。

オ 文化景観

奄美群島では、島嶼故に人の生活圏域と森林地域や海域が近接し、生活はこれらの自然と密接にかかわりを持ってきた。このため、集落内外にこれらを示す痕跡を見ることができ、現在のくらしや風習の中にも古から続く自然との関わりを見ることができる。

群島の各地に、神の降り立つ山（神山）や、集落を訪れる海の神が立ち寄る小島（立神と言われる）、山（森）、島（岩礁）があり、これらの言い伝えが山岳の風景や海域の風景を見る際により豊かな体験をもたらす。

集落内では、神の通る道や、祭祀を行うアシャゲやトネヤといった建造物、これらを中心とした集落構造、クラゴーやホーといった採水地が残されている。また、家屋周辺のサンゴ石垣とガ

ジュマル等の樹林や辻々に立てかけられた用心棒（ハブ対策のための道具）は、島の人々が台風やハブといった自然の脅威とどのように折り合いをつけて暮らしてきたかを目の当たりにすることができる風景である。

集落に近接したリーフや河川では、日常的に魚類、貝類、藻類やエビ・カニ類等を採集する風景を見ることができ、今も続く島の人々と自然とのかかわりを感じたり体験することができる。また、山中にはかつての生活で利用されていた古道や、耕作地跡、炭窯跡等を見ることができ、これらがかつての島の人々のくらしと自然とのかかわりを想起させるものとなっている。

これらの人と自然とのかかわりを示す風景（環境文化景観）は、自然景観とあいまって奄美群島での自然体験をより深く豊かなものにしている。

（２）利用の現況

奄美群島を訪れる入域客（奄美群島外から奄美群島域へ入ってきた人数）は、年間延べ 678,121 人（※鹿児島県「平成 30 年度奄美群島の概況」より引用）で、空路による入域と海路による入域が可能だが、約 70%の入域客が空路で来島する。空路は、東京、大阪などからの直行便が奄美大島に乗り入れており、東京から約 2 時間、大阪から約 1 時間 30 分で来島することができるほか、鹿児島と各島を直行便が結んでいる。

平成 30 年の各島の入込客数（奄美群島外から奄美群島域に入ってきた人数及び奄美群島内において各島間を移動した人数の合計）は、奄美大島 529,587 人、喜界島 60,418 人、徳之島 137,297 人、沖永良部島 89,045 人、与論島 69,064 人となっており、奄美大島への入込が最も多く、群島全体の入込客数の 6 割弱を占める。入込客数は、近年増加傾向となっている。

月別の入込状況では島によって大きな違いはなく、7・8 月の入込が最も多く、全体の 20%強がこの期間に訪れるが、各月ともそれぞれ 7～9%程度の入込があり、年間を通じて入込は平準化している。

利用形態は、奄美大島では大島海峡や笠利湾を展望する海岸沿いの景勝地や海浜巡り、金作原、湯湾岳や奄美自然観察の森での亜熱帯照葉樹林の散策、住用マングローブでのカヌー体験などが一般的であるが、大島海峡などでのシーカヤックやダイビング、グラスボートによる海中景観探勝を体験することもできる。また、夜間の林道でアマミノクロウサギをはじめ固有の動物等を観察するツアーなども行われている。奄美群島の中では自然ガイドが多く、各社が体験プログラムを提供している。

他の島では、主に海岸沿いの景勝地や砂浜を巡る利用を主として、ダイビングも行うことができるほか、沖永良部島では昇竜洞での鍾乳洞の散策、与論島では広大な礁湖でのグラスボートによる海中探勝や干潮時に出現する百合が浜での海水浴、喜界島などではサンゴ石垣等昔ながらの集落の面影をとどめた集落景観探訪などが特徴的である。

奄美大島や徳之島にはアマミノクロウサギ等固有種が生息する亜熱帯照葉樹林が広がるが、これまであまり活用されているとは言い難い。これらの森林の魅力を引き出すような利用施設を整備することのほか、資源を損なうことがないよう適切な仕組みを構築した上で適正な利用を推進し、良

好な自然体験の場と機会を提供することが課題となっている。また、各島で集落やその周辺を中心に
に見ることができる島人の風習や暮らしの中での自然とのかかわりを観光資源として活用するこ
とも課題の一つである。

(3) 社会経済的背景

ア 土地所有別

本区域は、公園区域 42,196ha(陸域)のうち、国有地 8,022ha(19.0%)、公有地 11,029ha(26.1%)、
私有地等 23,145ha(54.9%)である。

イ 人口及び産業

奄美群島の人口は、推定で 110,147 人(平成 27 年国勢調査)とされており、減少傾向が続い
ている。島別に見ると全人口の約 55.6%に相当する 61,256 人が奄美大島に集中し、喜界島 7,212
人(約 6.5%)、徳之島 23,497 人(約 21.3%)、沖永良部島 12,996 人(約 11.8%)、与論島 5,186
人(約 4.7%)となっている。

年齢構成は、15 歳未満約 14.5%、15~64 歳約 54.8%、65 歳以上約 30.8%となっており(平
成 27 年国勢調査)、全国平均に比べて 15 歳未満(約 12.6%)と 65 歳以上(約 26.6%)の割合
が高く、15~64 歳(約 60.7%)の割合が低い。

産業については、奄美群島全体の産業別就業者数の割合では第 3 次産業の割合(約 69%)が第
1 次産業(約 16%)、第 2 次産業(約 15%)を大きく上回るが、奄美大島以外の島の農業就業者
数割合は 20~30%で全国平均(3.6%)を大きく上回り、農業が主要産業と見なすことができる
(平成 22 年度国勢調査)。

農業は、さとうきび、野菜(ばれいしょ等)、畜産などで、沖永良部島では花き栽培も盛んで
ある。

林業は、奄美大島、徳之島においてパルプ・チップ、一般用材等のための林業が行われており、
産業別就業者数割合では、0.2%程度となっている。

水産業は、産業就業者数割合で 1.4%程度だが、カツオ、マグロ、ソデイカ等が水揚げされる
ほか、追込漁も行われている。また、クロマグロ、カンパチ、クルマエビ、真珠やもずく等の養
殖業も盛んで、中でもクロマグロ養殖は国内を代表する生産地となっている。

その他、産業上の特徴として建設業就業者割合が各島とも 10%前後と全国平均(7.6%)より
高く、製造業就業者割合(約 4.2%)が全国平均(15.9%)に比べてかなり低いことが上げられ
る。(平成 22 年度国勢調査)

観光業は、奄美大島や与論島でこれまでも取り組みが行われているものの、概して地域全体の
主要産業とまでは言い難い状況であるが、地域の有する資源や社会経済状況に鑑みれば、今後育
成を図るべき産業分野だと考えられ、近年各島とも取り組みに力を入れ始めたところである。

国立公園区域内には、奄美大島 14 集落、喜界島 2 集落、徳之島 1 集落が含まれている。農業
に従事する住民が多いものと考えられる。

ウ 権利制限関係

(ア) 保安林

(国有林)

種 類	位 置	重複面積 (ha)	指定年月日
【奄美大島】 水源かん養	鹿児島県奄美市名瀬地内	295	昭43. 10. 14
	鹿児島県奄美市住用町地内	642	昭46. 1 . 10 平16. 8 . 31
	鹿児島県大島郡宇検村地内	667	昭46. 1 . 10
	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	804	昭46. 1 . 10 平16. 8 . 31
	鹿児島県奄美市名瀬地内	121	昭58. 12. 22
保健			
【徳之島】 水源かん養	鹿児島県大島郡徳之島町地内	568	昭46. 1 . 10 昭58. 5 . 13 平16. 8 . 31
	鹿児島県大島郡天城町地内	558	昭46. 1 . 10 平16. 8 . 31
	鹿児島県大島郡伊仙町地内	326	昭46. 1 . 10 平 2 . 12. 5

(公有林)

種 類	位 置	重複面積 (ha)	指定年月日
【奄美大島】 水源かん養	鹿児島県奄美市名瀬地内	763	昭42. 8 . 19
	鹿児島県奄美市住用町地内	393	昭43. 3 . 1 昭44. 9 . 18 昭50. 2 . 27 平 7 . 8 . 28
	鹿児島県大島郡大和村地内	460	昭43. 3 . 1 昭44. 12. 27 平10. 1 . 14
	鹿児島県大島郡宇検村地内	1, 439	昭44. 9 . 18 昭46. 3 . 25
	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	165	昭45. 7 . 14

	鹿児島県大島郡龍郷町地内	243	昭58. 7. 19 昭42. 8. 19 昭44. 9. 18 平10. 1. 14
土砂流出防備	鹿児島県大島郡宇検村地内	4	昭58. 2. 4
	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	2	昭58. 6. 23
土砂崩壊防備	鹿児島県奄美市住用町地内	1	平18. 6. 6
潮害防備	鹿児島県奄美市笠利町地内	1	昭63. 5. 18
	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	1	平 7. 12. 20
魚つき	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	12	大 7. 11. 8
飛砂防備	鹿児島県奄美市笠利町地内	10	昭39. 9. 2
保健	鹿児島県奄美市笠利町地内	1	平 3. 12. 20
	鹿児島県大島郡大和村地内	82	平 3. 9. 20
	鹿児島県大島郡龍郷町地内	67	昭55. 3. 21
干害防備	鹿児島県大島郡龍郷町地内	74	昭55. 3. 21 昭62. 9. 11
【喜界島】			
水源かん養	鹿児島県大島郡喜界町地内	94	昭45. 7. 14
土砂崩壊防備	鹿児島県大島郡喜界町地内	1	平13. 5. 15
潮害防備	鹿児島県大島郡喜界町地内	10	昭56. 9. 7
保健	鹿児島県大島郡喜界町地内	10	昭56. 9. 7
【徳之島】			
水源かん養	鹿児島県大島郡徳之島町地内	224	昭45. 7. 14
	鹿児島県大島郡伊仙町地内	14	大 3. 4. 7
防風	鹿児島県大島郡伊仙町地内	7	昭55. 5. 14 昭62. 1. 14
保健	鹿児島県大島郡伊仙町地内	7	昭55. 5. 14 昭62. 1. 14
【沖永良部島】			
水源かん養	鹿児島県大島郡知名町地内	96	昭46. 3. 22 平 8. 10. 22
潮害防備	鹿児島県大島郡知名町地内	7	大 2. 11. 8
防風	鹿児島県大島郡和泊町地内	1	—

	鹿児島県大島郡知名町地内	3	—
【与論島】			
潮害防備	鹿児島県大島郡与論町地内	0.1	昭52. 1. 5
飛砂防備	鹿児島県大島郡与論町地内	16	昭39. 9. 2
保健	鹿児島県大島郡与論町地内	16	昭56. 5. 29

(民有林)

種 類	位 置	重複面積 (ha)	指定年月日
【奄美大島】			
水源かん養	鹿児島県奄美市名瀬地内	541	昭42. 8. 19
	鹿児島県奄美市住用町地内	557	昭43. 3. 1
			昭44. 9. 18
			昭50. 2. 27
			平 7. 8. 28
	鹿児島県大島郡大和村地内	813	昭43. 3. 1
			昭44. 12. 27
			昭47. 11. 14
			平10. 1. 14
	鹿児島県大島郡宇検村地内	160	昭58. 6. 21
	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	529	昭11. 5. 28
			昭45. 7. 14
			昭58. 7. 19
			昭42. 8. 19
土砂流出防備	鹿児島県大島郡龍郷町地内	389	昭44. 9. 18
			平10. 1. 14
			昭44. 12. 27
			平 2. 7. 27
	鹿児島県奄美市住用町地内	47	昭15. 3. 20
			昭56. 7. 10
			昭57. 1. 27
			昭58. 6. 23
			平 8. 5. 10
			平 2. 8. 15
土砂崩壊防備	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	2	平 7. 2. 16
	鹿児島県大島郡龍郷町地内	0.1	平 7. 7. 10

魚つき	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	2	昭8.10.10
保健	鹿児島県大島郡大和村地内	49	平3.9.20
干害防備	鹿児島県大島郡宇検村地内	51	昭61.11.7
	鹿児島県大島郡龍郷町地内	20	昭62.9.11
			昭63.5.18
【喜界島】			
水源かん養	鹿児島県大島郡喜界町地内	1	昭45.7.14
土砂流出防備	鹿児島県大島郡喜界町地内	2	昭57.6.18
			平1.1.23
土砂崩壊防備	鹿児島県大島郡喜界町地内	3	平13.5.15
潮害防備	鹿児島県大島郡喜界町地内	19	昭52.1.5
			昭56.9.7
防風	鹿児島県大島郡喜界町地内	4	昭53.11.22
保健	鹿児島県大島郡喜界町地内	10	昭56.9.7
【徳之島】			
水源かん養	鹿児島県大島郡徳之島町地内	363	昭45.7.14
			平3.4.17
			平7.12.20
	鹿児島県大島郡天城町地内	115	昭45.7.14
			平7.12.21
土砂流出防備	鹿児島県大島郡徳之島町地内	1	昭54.10.3
			平1.1.23
土砂崩壊防備	鹿児島県大島郡天城町地内	0.3	平17.6.3
飛砂防備	鹿児島県大島郡伊仙町地内	5	昭39.9.2
【沖永良部島】			
防風	鹿児島県大島郡知名町地内	6	昭53.11.22
【与論島】			
潮害防備	鹿児島県大島郡与論町地内	1	昭52.1.5

(イ) 鳥獣保護区

名 称	位 置	重複面積 (ha)	当初指定年月日
国指定湯湾岳鳥獣保護区	鹿児島県大島郡大和村及び宇検村地内	320 (うち特保103)	昭40.11.1

県指定母間鳥獣保護区	鹿児島県大島郡徳之島町地内	127	昭41. 11. 2
県指定百之台鳥獣保護区	鹿児島県大島郡喜界町地内	365	昭51. 11. 1
県指定笠利崎鳥獣保護区	鹿児島県奄美市笠利町地内	129	昭52. 10. 31
県指定大山鳥獣保護区	鹿児島県大島郡知名町地内	179	昭54. 10. 12
県指定犬田布鳥獣保護区	鹿児島県大島郡伊仙町地内	235	昭55. 10. 17
県指定長雲峠鳥獣保護区	鹿児島県大島郡龍郷町地内	35	昭58. 10. 7
県指定八津野鳥獣保護区	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	302	昭59. 10. 24
県指定住用鳥獣保護区	鹿児島県奄美市住用町地内	378	昭59. 10. 24
県指定山間鳥獣保護区	鹿児島県奄美市住用町地内	73	昭60. 10. 16
県指定大瀬海岸鳥獣保護区	鹿児島県奄美市笠利町地内	124	平 2. 10. 12
県指定ホノホシ鳥獣保護区	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	289	平 7. 10. 30
県指定金作原鳥獣保護区	鹿児島県奄美市名瀬地内	297	平 9. 10. 31
県指定金川岳鳥獣保護区	鹿児島県奄美市住用町地内	158	平10. 10. 30
県指定蒲生崎鳥獣保護区	鹿児島県奄美市笠利町地内	39	平11. 11. 1

(ウ) 史跡名勝天然記念物

区 分	名 称	位 置	指定年月日
国指定特別天然記念物	ア マ ミ ノ ク ロ ウ サ ギ	地域を定めず指定	昭38. 7. 4
国指定天然記念物	ル リ カ ケ ス	地域を定めず指定	大10. 3. 3
国指定天然記念物	神 屋 ・ 湯 湾 岳	奄美市住用町、宇検村	昭43. 11. 8
国指定天然記念物	ア カ ヒ ゲ	地域を定めず指定	昭45. 1. 23
国指定天然記念物	オ カ ヤ ド カ リ	地域を定めず指定	昭45. 11. 12
国指定天然記念物	オ オ ト ラ ツ グ ミ	地域を定めず指定	昭46. 5. 19
国指定天然記念物	カ ラ ス バ ト	地域を定めず指定	昭46. 5. 19
国指定天然記念物	オーストンオオアカゲラ	地域を定めず指定	昭46. 5. 19
国指定天然記念物	ト ゲ ネ ズ ミ	地域を定めず指定	昭47. 5. 15
国指定天然記念物	ケ ナ ガ ネ ズ ミ	地域を定めず指定	昭47. 5. 15
国指定天然記念物	喜界島の隆起サンゴ礁上植物群落	喜界町荒木・中里海岸	平26. 3. 18
県指定天然記念物	昇 竜 洞	知名町吉野平川	昭42. 3. 31
県指定天然記念物	イ ボ イ モ リ	地域を定めず指定	平15. 4. 22
県指定天然記念物	イ シ カ ワ ガ エ ル	地域を定めず指定	平15. 4. 22
県指定天然記念物	オ ビ ト カ ゲ モ ド キ	地域を定めず指定	平15. 4. 22
県指定天然記念物	オ ッ ト ン ガ エ ル	地域を定めず指定	平17. 4. 19
県指定天然記念物	請 島 の ウ ケ ユ リ 自 生 地	瀬戸内町請島池地	平20. 4. 22
県指定天然記念物	ア マ ミ ハ ナ サ キ ガ エ ル	地域を定めず指定	平23. 4. 19

県指定天然記念物	沖泊海岸の大型有孔虫化石密集層	知名町下城須原	平24. 4. 20
県指定天然記念物	大津勘のビーチロック	知名町大津勘	平24. 4. 20
市指定天然記念物	根瀬部地区自生タイワンヤマツツシ	奄美市名瀬字根瀬部	昭45. 3. 3
市指定天然記念物	手花部メヒルギ群落	奄美市笠利町手花部	昭46. 9. 1
市指定天然記念物	マングローブ群落	奄美市住用町石原	平4. 9. 1
市指定天然記念物	モダマ自生地	奄美市住用町東仲間	平4. 9. 1
国指定史跡	徳之島カミィヤキ陶器窯跡	伊仙町阿三	平19. 2. 6
町指定史跡・名勝	喜念浜一帯	伊仙町喜念	昭53. 2. 23
町指定史跡・名勝	義名山の森	伊仙町伊仙	昭53. 2. 23
町指定史跡・名勝	犬田布岬	伊仙町犬田布	昭53. 2. 23
町指定名勝	国頭的美瀬の浜一帯	和泊町国頭	昭42. 4. 10
町指定名勝	国頭フーチャ	和泊町国頭	昭42. 4. 10
町指定名勝	ホノホシ海岸	瀬戸内町蘇刈浦底	昭53. 12. 6
町指定名勝・天然記念物	ウケ百合	瀬戸内町池地	昭53. 12. 6
町指定天然記念物	ウケジママルバネクワガタ	瀬戸内町池地	平8. 11. 6
町指定天然記念物	水連洞	知名町大津勘	昭41. 8. 26
町指定天然記念物	沖泊アダンの自然林	知名町新城	昭41. 8. 26
町指定天然記念物	大津勘海岸ビーチロック	知名町大津勘	昭41. 8. 26

(エ) その他
(海岸保全区域)

名 称	位 置	重複延長(m)	指定年月日
用海岸	鹿児島県奄美市笠利町地内	930	昭33. 4. 1
奄美市笠利町海岸(用)	鹿児島県奄美市笠利町地内	1,137	平10. 8. 12
辺留海岸	鹿児島県奄美市笠利町地内	75	昭62. 10. 30
奄美市笠利町海岸(崎原)	鹿児島県奄美市笠利町地内	390	平10. 8. 12
奄美市海岸(芦花部)	鹿児島県奄美市地内	75	昭36. 8. 21
大和村海岸(ヒエン)	鹿児島県大島郡大和村地内	881	昭49. 2. 9
大和村海岸(徳浜)	鹿児島県大島郡大和村地内	165	昭47. 8. 16
大兼久海岸	鹿児島県大島郡大和村地内	420	平28. 8. 26
瀬戸内町海岸(白浜)	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	606	平2. 12. 19
古仁屋港海岸	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	11,090	昭42. 6. 28
知之浦海岸	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	383	昭39. 3. 25
嘉徳海岸	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	511	平28. 12. 26
秋名海岸	鹿児島県大島郡龍郷町地内	550	昭34. 12. 2

阿伝海岸	鹿児島県大島郡喜界町地内	826	昭48. 1. 19
金見海岸	鹿児島県大島郡徳之島町地内	370	昭39. 3. 25
天城町海岸（千間）	鹿児島県大島郡天城町地内	676	平 1. 11. 17
美瀬海岸	鹿児島県大島郡和泊町地内	330	昭50. 8. 4
沖泊海岸	鹿児島県大島郡知名町地内	604	平 2. 9. 5
屋子母海岸	鹿児島県大島郡知名町地内	1, 870	昭60. 12. 9
皆田	鹿児島県大島郡与論町地内	190	昭37. 6. 1
クズレ	鹿児島県大島郡与論町地内	402	昭37. 6. 1

(河川区域 (2級河川))

名 称	位 置	重複延長 (km)
芦花部川	鹿児島県奄美市名瀬地内	0.8
大川	鹿児島県奄美市名瀬地内	1.7
金久田川	鹿児島県奄美市住用町地内	0.2
住用川	鹿児島県奄美市住用町地内	7.7
役勝川	鹿児島県奄美市住用町地内	6.1
山間川	鹿児島県奄美市住用町地内	0.1
名音川	鹿児島県大島郡大和村地内	2.0
勝浦川	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	0.1
秋名川	鹿児島県大島郡龍郷町地内	3.6
ウワナル川	鹿児島県大島郡伊仙町地内	0.5

3 公園区域

(表 1 : 公園区域 (陸域) 表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
鹿児島県	奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 202 林班から 204 林班まで 及び 206 林班から 217 林班までの全部並びに 205 林班の一部 奄美市笠利町 大字字宿、大字笠利、大字喜瀬、大字佐仁、大字須 野、大字外金久、大字手花部、大字屋仁及び大字用 の各一部 奄美市住用町 大字石原、大字市、大字神屋、大字川内、大字城、 大字摺勝、大字西仲間、大字東仲間、大字見里、大 字役勝、大字山間及び大字和瀬の各一部 奄美市名瀬 大字朝戸、大字芦花部、大字伊津部町、大字金久町、 大字小宿、大字小湊、大字大熊、大字知名瀬、大字 西仲勝及び大字根瀬部の各一部	13, 225 国 2, 441 公 5, 372 私 4, 460 不 952 ※
	大島郡大和村内 国有林鹿児島森林管理署 230 林班の全部 大島郡大和村 大字今里、大字大金久、大字大棚、大字思勝、大字 国直、大字志戸勘、大字津名久、大字戸円、大字名 音、大字大和浜及び大字湯湾釜の各一部	5, 128 国 22 公 1, 506 私 3, 298 不 302
	大島郡宇検村内 国有林鹿児島森林管理署 226 林班、227 林班及び 230 林班の全部並びに 228 林班及び 229 林班の各一部 大島郡宇検村 大字芦検、大字田検及び大字湯湾の各一部	4, 158 国 678 公 1, 748 私 1, 598 不 134

※…土地所有者不明の意味。以下同様。

都道府県名	区 域	面積 (ha)
鹿児島県	大島郡瀬戸内町内 国有林鹿児島森林管理署 218 林班から 224 林班までの全部 大島郡瀬戸内町 大字阿木名、大字阿鉄、大字網野子、大字阿室釜、大字池地、大字生間、大字押角、大字勝浦、大字勝能、大字嘉鉄、大字嘉徳、大字久慈、大字管鈍、大字久根津、大字花天、大字花富、大字古志、大字小名瀬、大字古仁屋、大字薩川、大字実久、大字篠川、大字芝、大字諸数、大字諸鈍、大字清水、大字瀬相、大字節子、大字蘇刈、大字武名、大字手安、大字渡連、大字西阿室、大字西古見、大字俵、大字三浦、大字油井及び大字与路の各一部	9,255 国 1,610 公 730 私 6,150 不 765
	大島郡龍郷町 大字秋名、大字芦徳、大字安木屋場、大字幾里、大字浦、大字円、大字大勝、大字嘉渡、大字久場、大字瀬留及び大字龍郷の各一部	2,579 国 0 公 1,043 私 1,307 不 229
	奄美大島小計	34,345 国 4,751 公 10,399 私 16,813 不 2,382
	大島郡喜界町 大字阿伝、大字荒木、大字浦原、大字大朝戸、大字小野津、大字嘉鈍、大字川嶺、大字花良治、大字佐手久、大字志戸桶、大字白水、大字滝川、大字中里及び大字西目の各一部	974 国 0 公 127 私 280 不 567
	喜界島小計	974 国 0 公 127 私 280 不 567

都道府県名	区 域	面積 (ha)								
鹿児島県	大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 231 林班から 233 林班まで、240 林班から 242 林班まで及び 255 林班から 260 林班までの全部並びに 239 林班及び 254 林班の各一部 大島郡徳之島町 大字井之川、大字金見、大字亀津、大字亀徳、大字花徳、大字山、大字下久志、大字白井、大字手々、大字轟木及び大字母間の各一部	3, 171 <table><tr><td>国</td><td>1, 427</td></tr><tr><td>公</td><td>223</td></tr><tr><td>私</td><td>1, 301</td></tr><tr><td>不</td><td>220</td></tr></table>	国	1, 427	公	223	私	1, 301	不	220
	国	1, 427								
	公	223								
	私	1, 301								
	不	220								
大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 234 林班、241 林班及び 243 林班から 248 林班までの全部並びに 235 林班、236 林班、238 林班及び 249 林班の各一部 大島郡天城町 大字天城、大字大津川、大字兼久、大字瀬滝、大字当部、大字西阿木名、大字松原及び大字与名間の各一部	2, 259 <table><tr><td>国</td><td>1, 559</td></tr><tr><td>公</td><td>55</td></tr><tr><td>私</td><td>491</td></tr><tr><td>不</td><td>154</td></tr></table>	国	1, 559	公	55	私	491	不	154	
国	1, 559									
公	55									
私	491									
不	154									
大島郡伊仙町内 国有林鹿児島森林管理署 250 林班から 252 林班までの各一部 大島郡伊仙町 大字阿権、大字阿三、大字伊仙、大字糸木名、大字犬田布、大字面縄、大字喜念、大字木之香、大字検福、大字小島、大字崎原、大字佐弁、大字中山、大字馬根、大字古里及び大字八重竿の各一部	692 <table><tr><td>国</td><td>285</td></tr><tr><td>公</td><td>22</td></tr><tr><td>私</td><td>109</td></tr><tr><td>不</td><td>276</td></tr></table>	国	285	公	22	私	109	不	276	
国	285									
公	22									
私	109									
不	276									
徳之島小計	6, 122 <table><tr><td>国</td><td>3, 271</td></tr><tr><td>公</td><td>300</td></tr><tr><td>私</td><td>1, 901</td></tr><tr><td>不</td><td>650</td></tr></table>	国	3, 271	公	300	私	1, 901	不	650	
国	3, 271									
公	300									
私	1, 901									
不	650									
大島郡和泊町 大字国頭及び大字西原の各一部	52 <table><tr><td>国</td><td>0</td></tr><tr><td>公</td><td>9</td></tr><tr><td>私</td><td>1</td></tr><tr><td>不</td><td>42</td></tr></table>	国	0	公	9	私	1	不	42	
国	0									
公	9									
私	1									
不	42									

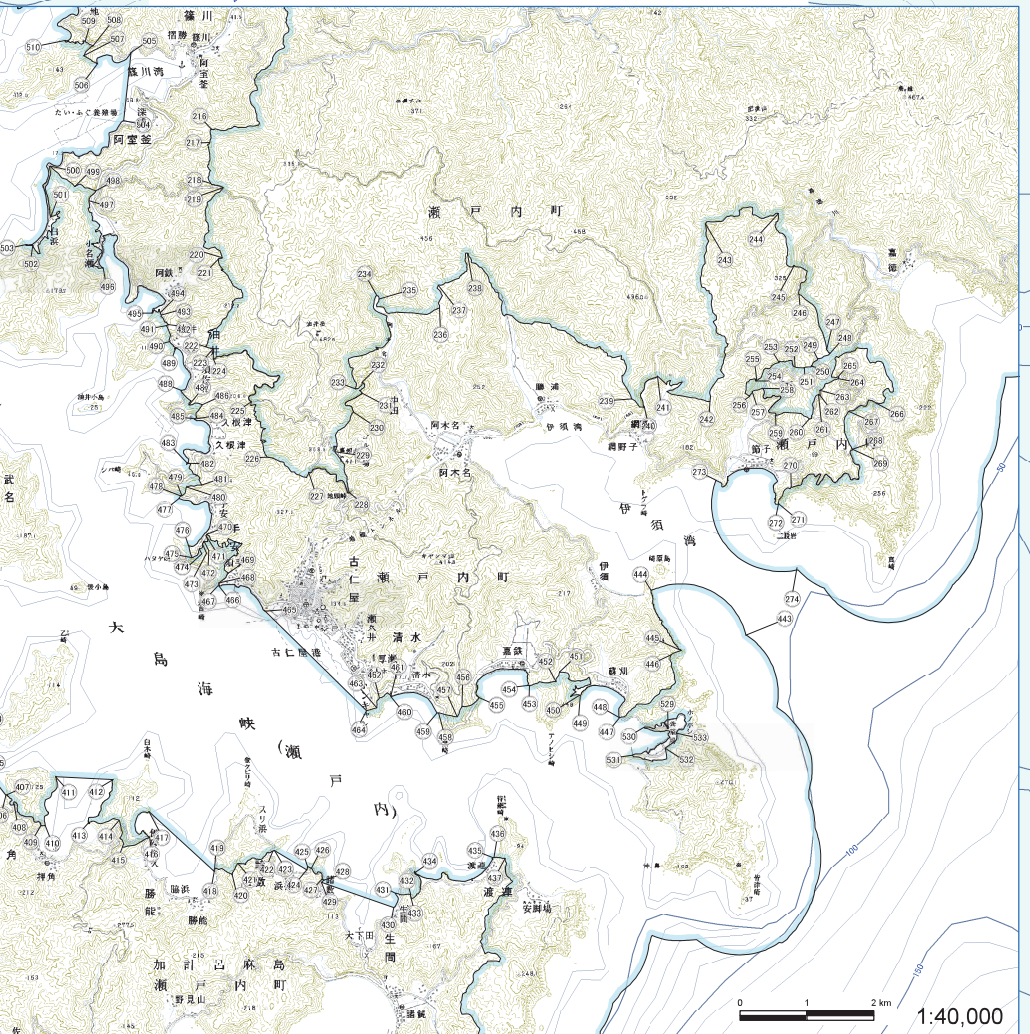
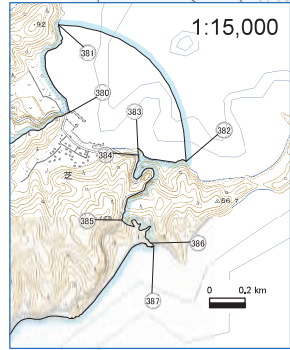
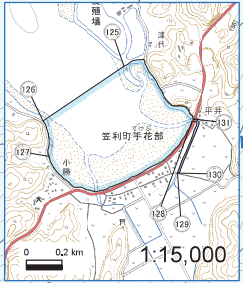
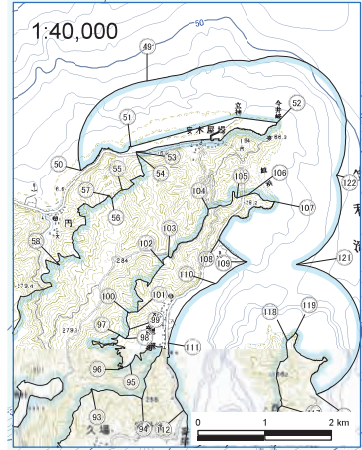
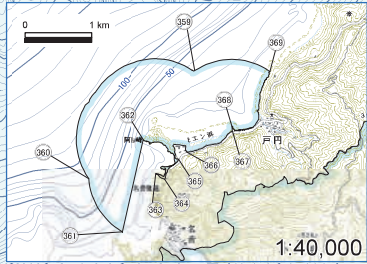
都道府県名	区 域	面積 (ha)
鹿児島県	大島郡知名町 大字大津勘、大字上城、大字上平川、大字下城、 大字下平川、大字新城、大字住吉、大字瀬利覚、 大字田皆、大字徳時及び大字屋子母の各一部	581 国 0 公 175 私 116 不 290
	沖永良部島小計	633 国 0 公 184 私 117 不 332
	大島郡与論町 大字茶花、大字那間、大字古里及び大字麦屋の各一部	122 国 0 公 19 私 12 不 91
	与論島小計	122 国 0 公 19 私 12 不 91
	これらの地域の地先海岸、地先島嶼及び地先岩礁の 各一部を含む。	
合 計		42, 196 国 8, 022 公 11, 029 私 19, 123 不 4, 022

(表 2 : 公園区域 (海域) 表)

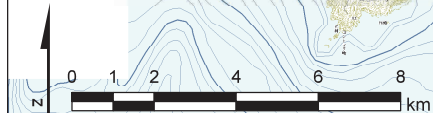
区 域	面積 (ha)
鹿児島県 奄美市、大島郡大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町、喜界町、徳之島町、天城町、伊仙町、和泊町、知名町及び与論町の地先海面の一部	33,082
合 計	33,082

奄美群島国立公園公園区域図（奄美大島）

位置図



凡	例
	公園区域



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分1地勢図、5万分1地形図、2万5千分1地形図、電子地形図25000及び電子地形図20万を複製したものである。（承認番号 今元情報、第261号）

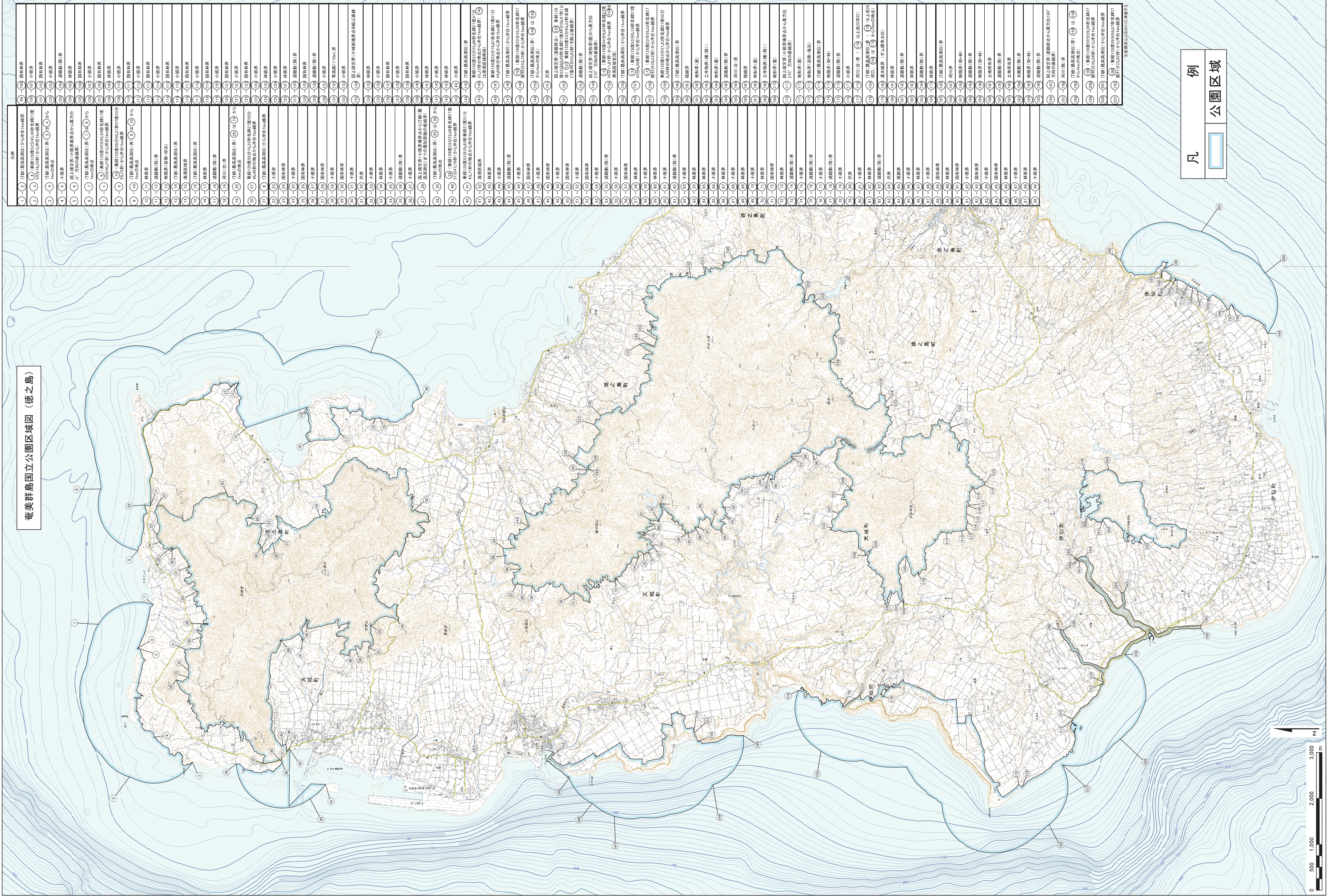
奄美群島国立公園区域図（喜界島）

凡	例
	公園区域



凡		例
1	- 2	道路敷(除)界
2	- 3	工作物界(堤防)
3	- 4	道路敷(除)界
4	- 5	図上確定界(道路終点と汀線を結ぶ最短距離の直線界)
5	- 6	汀線(最高高潮位)界(6 は 5 から1kmの地点)
6	- 7	5 (東経130度1分 21.68秒北緯28度20分53.2秒)から沖合1km線界
7	- 8	汀線(最高高潮位)から沖合1km線界
8	- 9	1 (東経130度0分56.18秒北緯28度22分38.28秒)から沖合1km線界
9	- 1	汀線(最高高潮位)界(9 は 1 から1kmの地点)
10	- 11	道路敷(除)界
11	- 12	図上確定界(道路交差点と湾最奥部を結ぶ直線界)
12	- 13	汀線(最高高潮位)界
13	- 14	歩道(除)界
14	- 15	道路敷(除)界
15	- 10	尾根界
16	- 17	東経129度55分3.07秒北緯28度19分1.73秒の地点から沖合1km線界
17	- 18	汀線(最高高潮位)から沖合1km線界
18	- 19	東経129度54分55.43秒北緯28度17分46.62秒の地点から沖合1km線界
19	- 20	漁港区域界(19 は東経129度55分18.23秒北緯28度17分16.98秒の点)
20	- 21	汀線(最高高潮位)界
21	- 22	図上確定界(道路分岐点から真方位180° 方向に伸び汀線(最高高潮位)と交わる直線界)
22	- 23	歩道(除)界
23	- 24	小班界
24	- 25	道路敷(除)界
25	- 26	図上確定界(湾最奥部から真方位180° 方向の直線界)
26	- 16	汀線(最高高潮位)界(16 は 26 から1kmの地点)

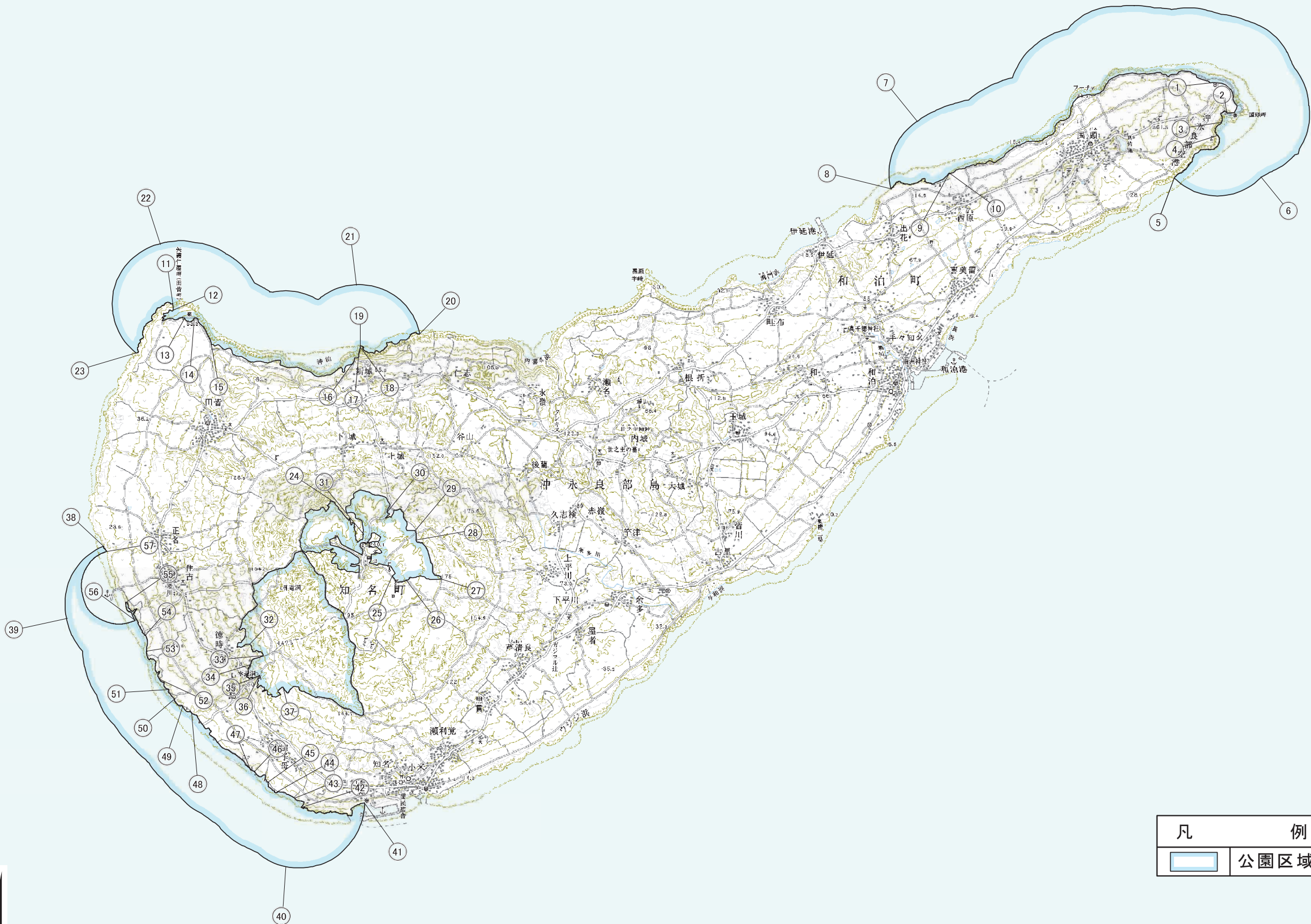
※座標系はJGD2011に準拠する



奄美群島国立公園区域図（徳之島）

1	2	7丁根（徳高直瀬川）から沖合1km線界	32	33	徳科林界
3	3	（8）東経128度53分45.30秒北緯27度53分16.9秒から沖合1km線界	100	101	小畑界
4	4	打根（徳高直瀬川）界（3）は○から1kmの地点	102	103	徳科林界
5	5	小畑界	104	105	小畑界
6	6	徳上徳高直瀬川（小畑新橋界点から東方位0°方向の直線線界）	106	107	徳科林界
7	7	打根（徳高直瀬川）界（3）は○から1kmの地点	108	109	徳科林界
8	8	（8）東経128度54分55.84秒北緯27度52分30.21秒から沖合1km線界	110	111	小畑界
9	9	（9）東経128度55分52.82秒北緯27度52分30.21秒から沖合1km線界	112	113	小畑界
10	10	打根（徳高直瀬川）界（3）は○から1kmの地点	114	115	小畑界
11	11	徳科界	116	117	徳科林界
12	12	徳科林界	118	119	徳科林界
13	13	徳科林界（徳高直瀬川）界	120	121	徳科林界
14	14	徳高直瀬川界	122	123	徳科林界
15	15	打根（徳高直瀬川）界	124	125	徳科林界
16	16	徳科林界	126	127	徳科林界
17	17	徳科林界	128	129	徳科林界
18	18	徳科林界	130	131	徳科林界
19	19	打根（徳高直瀬川）界（3）は○から1kmの地点	132	133	徳科林界
20	20	打根（徳高直瀬川）界（3）は○から1kmの地点	134	135	徳科林界
21	21	東経128度55分15.23秒北緯27度50分46.44秒の地点から沖合1km線界	136	137	徳科林界
22	22	打根（徳高直瀬川）から沖合1km線界	138	139	徳科林界
23	23	小畑界	140	141	徳科林界
24	24	徳科林界	142	143	徳科林界
25	25	徳科林界	144	145	徳科林界
26	26	徳科林界	146	147	徳科林界
27	27	徳科林界	148	149	徳科林界
28	28	徳科林界	150	151	徳科林界
29	29	徳科林界	152	153	徳科林界
30	30	徳科林界	154	155	徳科林界
31	31	徳科林界	156	157	徳科林界
32	32	徳科林界	158	159	徳科林界
33	33	徳科林界	160	161	徳科林界
34	34	徳科林界	162	163	徳科林界
35	35	徳科林界	164	165	徳科林界
36	36	徳科林界	166	167	徳科林界
37	37	徳科林界	168	169	徳科林界
38	38	徳科林界	170	171	徳科林界
39	39	徳科林界	172	173	徳科林界
40	40	徳科林界	174	175	徳科林界
41	41	徳科林界	176	177	徳科林界
42	42	徳科林界	178	179	徳科林界
43	43	徳科林界	180	181	徳科林界
44	44	徳科林界	182	183	徳科林界
45	45	徳科林界	184	185	徳科林界
46	46	徳科林界	186	187	徳科林界
47	47	徳科林界	188	189	徳科林界
48	48	徳科林界	190	191	徳科林界
49	49	徳科林界	192	193	徳科林界
50	50	徳科林界	194	195	徳科林界
51	51	徳科林界	196	197	徳科林界
52	52	徳科林界	198	199	徳科林界
53	53	徳科林界	200	201	徳科林界
54	54	徳科林界	202	203	徳科林界
55	55	徳科林界	204	205	徳科林界
56	56	徳科林界	206	207	徳科林界
57	57	徳科林界	208	209	徳科林界
58	58	徳科林界	210	211	徳科林界
59	59	徳科林界	212	213	徳科林界
60	60	徳科林界	214	215	徳科林界
61	61	徳科林界	216	217	徳科林界
62	62	徳科林界	218	219	徳科林界
63	63	徳科林界	220	221	徳科林界
64	64	徳科林界	222	223	徳科林界
65	65	徳科林界	224	225	徳科林界
66	66	徳科林界	226	227	徳科林界
67	67	徳科林界	228	229	徳科林界
68	68	徳科林界	230	231	徳科林界
69	69	徳科林界	232	233	徳科林界
70	70	徳科林界	234	235	徳科林界
71	71	徳科林界	236	237	徳科林界
72	72	徳科林界	238	239	徳科林界
73	73	徳科林界	240	241	徳科林界
74	74	徳科林界	242	243	徳科林界
75	75	徳科林界	244	245	徳科林界
76	76	徳科林界	246	247	徳科林界
77	77	徳科林界	248	249	徳科林界
78	78	徳科林界	250	251	徳科林界
79	79	徳科林界	252	253	徳科林界
80	80	徳科林界	254	255	徳科林界
81	81	徳科林界	256	257	徳科林界
82	82	徳科林界	258	259	徳科林界
83	83	徳科林界	260	261	徳科林界
84	84	徳科林界	262	263	徳科林界
85	85	徳科林界	264	265	徳科林界
86	86	徳科林界	266	267	徳科林界
87	87	徳科林界	268	269	徳科林界
88	88	徳科林界	270	271	徳科林界
89	89	徳科林界	272	273	徳科林界
90	90	徳科林界	274	275	徳科林界
91	91	徳科林界	276	277	徳科林界
92	92	徳科林界	278	279	徳科林界
93	93	徳科林界	280	281	徳科林界
94	94	徳科林界	282	283	徳科林界
95	95	徳科林界	284	285	徳科林界
96	96	徳科林界	286	287	徳科林界
97	97	徳科林界	288	289	徳科林界
98	98	徳科林界	290	291	徳科林界
99	99	徳科林界	292	293	徳科林界
100	100	徳科林界	294	295	徳科林界
101	101	徳科林界	296	297	徳科林界
102	102	徳科林界	298	299	徳科林界
103	103	徳科林界	300	301	徳科林界
104	104	徳科林界	302	303	徳科林界
105	105	徳科林界	304	305	徳科林界
106	106	徳科林界	306	307	徳科林界
107	107	徳科林界	308	309	徳科林界
108	108	徳科林界	310	311	徳科林界
109	109	徳科林界	312	313	徳科林界
110	110	徳科林界	314	315	徳科林界
111	111	徳科林界	316	317	徳科林界
112	112	徳科林界	318	319	徳科林界
113	113	徳科林界	320	321	徳科林界
114	114	徳科林界	322	323	徳科林界
115	115	徳科林界	324	325	徳科林界
116	116	徳科林界	326	327	徳科林界
117	117	徳科林界	328	329	徳科林界
118	118	徳科林界	330	331	徳科林界
119	119	徳科林界	332	333	徳科林界
120	120	徳科林界	334	335	徳科林界
121	121	徳科林界	336	337	徳科林界
122	122	徳科林界	338	339	徳科林界
123	123	徳科林界	340	341	徳科林界
124	124	徳科林界	342	343	徳科林界
125	125	徳科林界	344	345	徳科林界
126	126	徳科林界	346	347	徳科林界
127	127	徳科林界	348	349	徳科林界
128	128	徳科林界	350	351	徳科林界
129	129	徳科林界	352	353	徳科林界
130	130	徳科林界	354	355	徳科林界
131	131	徳科林界	356	357	徳科林界
132	132	徳科林界	358	359	徳科林界
133	133	徳科林界	360	361	徳科林界
134	134	徳科林界	362	363	徳科林界
135	135	徳科林界	364	365	徳科林界
136	136	徳科林界	366	367	徳科林界
137	137	徳科林界	368	369	徳科林界
138	138	徳科林界	370	371	徳科林界
139	139	徳科林界	372	373	徳科林界
140	140	徳科林界	374	375	徳科林界
141	141	徳科林界	376	377	徳科林界
142	142	徳科林界	378	379	徳科林界
143	143	徳科林界	380	381	徳科林界
144	144	徳科林界	382	383	徳科林界
145	145	徳科林界	384	385	徳科林界
146	146	徳科林界	386	387	徳科林界
147	147	徳科林界	388	389	徳科林界
148	148	徳科林界	390	391	徳科林界
149	149	徳科林界	392	393	徳科林界
150	150	徳科林界	394	395	徳科林界
151	151	徳科林界	396	397	徳科林界
152	152	徳科林界	398	399	徳科林界
153	153	徳科林界	400	401	徳科林界
154	154	徳科林界	402	403	徳科林界
155	155	徳科林界	404	405	徳科林界
156	156	徳科林界	406	407	徳科林界
157	157	徳科林界	408	409	徳科林界
158	158	徳科林界	410	411	徳科林界
159	159	徳科林界	412	413	徳科林界
160	160	徳科林界	414	415	徳科林界
161	161	徳科林界	416	417	徳科林界
162	162	徳科林界	418	419	徳科林界
163	163	徳科林界	420	421	徳科林界
164	164	徳科林界	422	423	徳科林界
165	165	徳科林界	424	425	徳科林界
166	166	徳科林界	426	427	徳科林界
167	167	徳科林界	428	429	徳科林界
168	168	徳科林界	430	431	徳科林界
169	169	徳科林界	432	433	徳科林界
170	170	徳科林界	434	435	徳科林界
171	171	徳科林界	436	437	徳科林界
172	172	徳科林界	438	439	徳科林界
173	173	徳科林界	440	441	徳科林界
174	174	徳科林界	442	443	徳科林界
175	175	徳科林界	444	445	徳科林界
176	176	徳科林界	446	447	徳科林界
177	177	徳科林界	448	449	徳科林界
178	178	徳科林界	450	451	徳科林界
179	179	徳科林界	452	453	徳科林界
180	180	徳科林界	454	455	徳科林界
181	181	徳科林界	456	457	徳科林界
182	182	徳科林界	458	459	徳科林界
183	183	徳科林界	460	461	徳科林界
184	184	徳科林界	462	463	徳科林界
185	185	徳科林界	464	465	徳科林界
186	186	徳科林界	466	467	徳科林界
187	187	徳科林界	468	469	徳科林界
188	188	徳科林界	470	471	徳科林界
189	189	徳科林界	472	473	徳科林界
190	190	徳科林界	474	475	徳科林界
191	191	徳科林界	476	477	徳科林界
192	192	徳科林界	478	479	徳科林界
193	193	徳科林界	480	481	徳科林界
194	194	徳科林界	482	483	徳科林界
195	195	徳科林界	484	485	徳科林界
196	196	徳科林界	486	487	徳科林界
197	197	徳科林界	488	489	徳科林界
198	198	徳科林界	490	491	徳科林界
199	199	徳科林界	492	493	徳科林界
200	200	徳科林界	494	495	徳科林界
201	201	徳科林界	496	497	徳科林界
202	202	徳科林界	498	499	徳科林界
203	203	徳科林界	500	501	徳科林界
204	204	徳科林界	502	503	徳科林界
205	205	徳科林界	504	505	徳科林界
206	206	徳科林界	506	507	徳科林界
207	207	徳科林界	508	509	徳科林界
208	208	徳科林界	510	511	徳科林界
209	209	徳科林界	512	513	徳科林界
210	210	徳科林界	514	515	徳科林界
211	211	徳科林界	516	517	徳科林界
212	212	徳科林界	518	519	徳科林界
213	213	徳科林界	520	521	徳科林界
214	214	徳科林界	522	523	徳科林界
215	215	徳科林界	524	525	徳科林界
216	216	徳科林界	526	527	徳科林界
217	217	徳科林界	528	529	徳科林界
218	218	徳科林界	530	531	徳科林界
219	219	徳科林界	532	533	徳科林界
220	220	徳科林界	534	535	徳科林界
221	221	徳科林界	536	537	徳科林界
222	222	徳科林界	538	539	徳科林界
223	223	徳科林界	540	541	徳科林界
224	224	徳科林界	542	543	徳科林界
225	225	徳科林界	544	545	徳科林界
226	226	徳科林界	546	547	徳科林界
227	227				

奄美群島国立公園区域図（沖永良部島）



凡	例
	公園区域

凡例	
1	2 土地所有界(町・私)
2	3 道路敷(除)界
3	4 地類界(海浜・斜面)
4	5 汀線(最高高潮位)界(5は4から1kmの地点)
5	6 4から沖合1km線界
6	7 汀線(最高高潮位)から沖合1km線界
7	8 9から沖合1km線界
8	9 汀線(最高高潮位)界(8は9から1kmの地点)
9	10 地類界(砂浜・岩礁)
10	1 道路敷(除)界
11	12 図上確定界(遊歩道交点から真方位0°方向の直線界)
12	13 道路敷(除)界
13	14 土地所有界(字有地境界)
14	15 道路敷(除)界
15	16 農地地域との境界
16	17 地番界
17	18 地形界(崖)
18	19 稜線界
19	20 汀線(最高高潮位)界(20は19から1kmの地点)
20	21 19から沖合1km線界
21	22 汀線(最高高潮位)から沖合1km線界
22	23 11から沖合1km線界
23	11 汀線(最高高潮位)界(23は11から1kmの地点)
24	25 土地所有界(町有地境界)
25	26 道路敷(除)界
26	27 小班界
27	28 土地所有界(町有地境界)
28	29 林班界
29	30 土地所有界(町有地境界)
30	31 道路敷(除)界
31	24 小班界
32	33 地番界
33	34 道路敷(除)界
34	35 地番界
35	36 道路敷(除)界
36	37 地番界
37	32 道路敷(除)界
38	39 55から沖合1km線界
39	40 汀線(最高高潮位)から沖合1km線界
40	41 42から沖合1km線界
41	42 汀線(最高高潮位)界(41は42から1kmの地点)
42	43 地番界
43	44 道路敷(除)界
44	45 地番界
45	46 道路敷(除)界
46	47 地番界
47	48 道路敷(除)界
48	49 地番界
49	50 道路敷(除)界
50	51 地番界
51	52 道路敷(除)界
52	53 地番界
53	54 道路敷(除)界
54	55 地番界
55	56 汀線(最高高潮位)界
56	57 港湾区域界
57	38 汀線(最高高潮位)界(38は55から1kmの地点)

※座標系はJGD2011に準拠する

奄美群島国立公園区域図（与論島）



凡 例	
① - ②	③（東経128度 24分56.26秒北緯27度 分28.47秒）から沖合1km線界
② - ③	汀線（最高高潮位）界（②は③から 1kmの地点）
③ - ④	図上確定界（地番界境界点から270° 方向の直線界）
④ - ⑤	地番界
⑤ - ⑥	道路敷（除）界
⑥ - ⑦	地番界
⑦ - ⑧	道路敷（除）界
⑧ - ⑨	地番界
⑨ - ⑩	土地所有界（国・民有地境界）
⑩ - ⑪	道路敷（除）界
⑪ - ⑫	汀線（最高高潮位）界（⑫は⑪から 1kmの地点）
⑫ - ⑬	⑪（東経128度26分36.59秒北緯N27 度1分8.80秒）から沖合1km線界
⑬ - ①	漁港区域と地形（礁縁）の交点（東経128 度27分29.43秒北緯27度0分54.04秒）から漁港区域と地形（礁縁）の交点（東経 128度24分48.23秒北緯27度3分43.07 秒）までの間の地形（礁縁）から1km線界

※座標系はJGD2011に準拠する

凡 例	
	公園区域